

令和3年度 大津市立和邇小学校いじめ防止基本方針

はじめに

2011年（平成23年）の市内中学生が自ら命を絶たれた痛ましい事案以降、このような悲しみを再び繰り返してはならないという強い決意のもと、和邇小学校においては、いじめ防止対策推進法（以下「法」といいます）、大津市子どものいじめの防止に関する条例（以下「条例」といいます）、大津市いじめの防止に関する行動計画に基づき、いじめの「未然防止」「早期発見」「早期対処」を柱に、いじめ問題に対する対策を進めてきました。

条例には、以下のような基本理念が定められています。

「全ての子どもは、かけがえのない存在であり、一人一人の心と体は大切にされなければなりません。子どもの心と体に深刻な被害をもたらすいじめは、子どもの尊厳を脅かし、基本的人権を侵害するものです。しかしながら、いじめはいつでもどこにおいても起こりうると同時に、どの子どももいじめの対象として被害者にも加害者にもなり得ることがあります。このようないじめを防止し、次代を担う子どもが健やかに成長し、安心して学ぶことができる環境を整えることは、全ての市民の役割であり責務です。」

この基本理念に則り、和邇小学校では、過去の反省を忘れることなく、子どもの声や主体性を大切にしながら、地域社会全体で、いじめ対策に取り組んでいくことが重要であると考え、本校のいじめ防止基本方針を定めました。

また、本校では、目指す子ども像に「和邇を愛し、心豊かに友とつながり、学び合う子の育成 ～わたしから考える子ども、にこにこ元気な子ども、つづけてがんばる子ども、こころを合わせるこども～」を掲げ、心身共にたくましい子どもの育成を目指し取り組んでいるところです。

全ての子どもたちが安心・安全に学校生活を過ごす事ができ、一人ひとりの笑顔が輝く学校づくりを進めるためにも、学校組織全体で、以降に示す取組を進めます。

目次

- 1 いじめ防止等のための対策の基本的な考え方・・・・・・・・・・
 - (1) いじめの未然防止
 - (2) いじめの早期発見
 - (3) いじめへの対処
- 2 「いじめ対策委員会」の設置・・・・・・・・・・
 - (1) 役割
 - (2) 構成員
 - (3) 関係する校内委員会等との連携
 - (4) いじめ事案対応フロー図
- 3 その他いじめの防止等のための対策に関する重要事項・・・・・・・・
 - (1) 基本方針、年間計画の見直し
 - (2) 基本方針、年間計画の公開・説明
- 4 いじめ防止等に向けた年間計画・・・・・・・・・・
- 5 その他（資料等）・・・・・・・・・・

1 いじめ防止等のための対策の基本的な考え方

いじめ問題に取り組むにあたっては、「いじめ」にはどのような特質があるかを十分に認識し、日々「未然防止」と「早期発見」に取り組むとともに、いじめが認知された場合の「早期対処」に的確に取り組むことが必要であると考えます。法では、「いじめ」を以下のように定義されています。

「いじめ」とは、児童等に対して、当該児童等が在籍する学校に在籍している等当該児童等と一定の人間関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）であって、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているものをいう。

本校では、このいじめの定義に基づき、「未然防止」「早期発見」「早期対処」に関する以下の内容について、組織的に進めます。

(1) いじめの未然防止

いじめはどの子どもにも、どの学校でも、起こりうるものであることを踏まえ、より根本的にいじめの問題を克服するためには、すべての児童を対象としたいじめの未然防止の観点が重要です。

このため、本校では、すべての児童が、より良い人間関係を構築できるような態度を育むことで、いじめを生まない環境づくりを進めます。また、家庭、地域その他の関係者に対し、学校での取り組み内容を説明し、協力を求めることで、地域社会が一体となった取組を進めます。

取組の基本となるのは、児童が、周囲の友人や教職員と信頼できる関係の中、安心・

安全に学校生活を送ることができ、規律正しい態度で授業や学校行事に主体的に参加・活躍できるような授業づくりや集団づくり、学校づくりを行っていく事であると考えています。学校のあらゆる教育活動の中で、すべての児童が自己存在感を感じ、自己決定の場を与えられ、共感的関係を育てる機会を設けることを大切にし、互いを認め合える人間関係・学校風土の醸成に努めます。加えて、児童自らがいじめについて学び、取り組む等の自主的・自治的な活動を積極的に支援し、児童一人ひとりが主役となる学校づくりも進めます。

そうした未然防止の取り組みについては、日常的な児童の行動の様子や欠席の状況を把握し、その状況に応じ、随時見直しを図ることで、より充実した取組を進めます。

については、上記のことに関して、本校では、以下のような取組を進めます。

① 子どもの主体的な参画

| No. | 行動計画の具体的取組 | 取組目標 |
|-----|----------------------------|--|
| a | 児童会及び生徒会を主体とした活動の推進 | 児童会が主体となって、仲間と繋がる取り組みやいじめ防止啓発に関わる取り組みを話し合い、全校に向け発信します。 |
| b | 学校・学級及び個人のいじめ防止に関する取組目標の設定 | 係活動や当番活動、実行委員活動など全教育活動の中で、人権意識を高め、“自主・自立・自治”の育成につなげます。 |

② 子どもに対する教育・啓発

| No. | 行動計画の具体的取組 | 取組目標 |
|-----|------------------|---|
| a | 子どもの心を豊かにする教育の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 始業式で、学校長よりいじめに関する話を行い、発達段階に応じ、各クラスで啓発します。 ・ 4月に子ども支援コーディネーターが全教室を訪れ存在を周知すると共に、大事にして欲しい考えについて話します。 ・ 全学級でいじめに関するビデオを視聴し、いじめは法律で禁止されていることを知ると共に、よりよい人間観が築けるように支援します。 ・ かけがえのない命の大切さを学ぶ道徳教育の充実を図り、6月にいじめに関する授業、10月で命に関する授業を全学級で行います。 ・ 教師自身が、様々な価値観を認め大切にするすることで、児童の多様性を認め価値観を広げていきます。 |
| b | 自他ともに認め合う人権教育の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 一人ひとりの思いを大切にしながら、共に認め合い高め合える集団づくりをめざします。 ・ 「ちがいを」受け止め、互いに気持ちよく文化的に生活する大切さを感じられる教育に努めます。 |

| | | |
|---|--------------------------------|---|
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・月1回「人権の日」を設け、人権について考える機会を持ちます。 |
| c | いじめ問題にかかる子どもの解決力を育むための教育の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・教育相談体制を整え、話しやすい雰囲気作り、相談することの大切さや人を思いやる心を育てます。 ・自分で気持ちを伝えることの大切さ分かるよう、日々支援していきます。 ・自治的な能力が育まれるよう、教育活動全体を通して指導していきます。 ・子ども同士で解決に向かう力をつけるよう、正しく伝える方法や対処の仕方を一緒に考えていきます。 |
| d | 専門家によるいじめ問題や人権教育等にかかる授業の実施 | <ul style="list-style-type: none"> ・人権擁護委員による人権の授業を行い、自分や友だちを大切にすることについて考える機会を設けます。 ・SCよりソーシャルスキルの授業を行い、問題にうまく向き合ったり対処したりするスキルを身につけます。 |
| e | 子どもの存在や意見が大切にされる授業づくり・学級づくりの推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・集団の一員として自覚を深め、協力してよりよい生活が築くことができるように支援します。 ・魅力ある授業づくりを進める中で、子どもの考えを大切にし、一人ひとりの居場所のある学級づくりに努めます。 |
| f | いじめ防止啓発月間・人権週間における取組 | <ul style="list-style-type: none"> ・いじめ防止啓発月間では、児童会からのボトムアップの取り組みに努めます。 ・人権週間に、人権擁護委員による授業を行い、人権意識を高めます。 |
| g | 思いやりの心を育てる異年齢交流の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・6年生が1年生の清掃活動を手伝います。 ・総合的な学習の場面で、年下の学年に、学んだことを発信していきます。 ・幼稚園、保育園と連携し、共に学ぶ機会を設けます。 |
| h | ネット上のいじめを含めた情報モラル教育の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・外部の講師を招き、スマホやインターネットの安全な使い方を知り、トラブルを未然に防ぐ方法を身につけることができるよう啓発します。 |

③ 教員に対する研修・支援

| No. | 行動計画の具体的取組 | 取組目標 |
|-----|--|---|
| a | いじめ対策に関する校内研修の実施及びいじめ対策の取組にかかわる教員体制の整備 | <ul style="list-style-type: none"> ・いじめに関する校内研修を年間を通して実施します。 ・管理職の指揮の下、子ども支援コーディネーター・生徒指導担当を中心に早期発見・組織対応・再発防止に向けて、支援体制を整えます。 ・規律ある集団に育成できるよう、学習や生活のルールについて和邇小ベーシックを設定し、教師一丸となって取り組みます。 |

| | | |
|---|--|---|
| | | ・学校、教室の環境を整え、エンтроピーの低い環境をづくりを行います。 |
| b | 学校いじめ防止基本方針及び子ども支援コーディネーター等の周知 | ・年度当初に、学校いじめ防止基本方針を全職員に周知します。 |
| c | いじめ事案対応にかか る教員への指導・助言 及び組織的支援体制の 充実 | ・いじめ対策委員会を中心に、全教職員・全児童に対し、組織的に支援していきます。 |

④ その他（学校独自の取組）

| 取組目標 | |
|------|---|
| | みんなが仲良く安心して学校生活を送れるよう「いじめ防止」ののぼりを作成します。 |
| | 「わにっこいいところ見つけ」で、友だちの「素敵」をたくさん見つけていきます。 |

(2) いじめの早期発見

いじめは、大人の目に付きにくい時間や場所で行われたり、遊びやふざけあいを装って行われたりするものです。しかしながら、いじめやその疑いを見逃してしまうと、より深刻な状況を招いてしまいます。そのようなことから、本校では、たとえささいな兆候であっても、いじめではないかとの疑いを持って、早い段階から学校のいじめ対策委員会を中心となり積極的に対応します。

そのためには、多くの大人が児童の小さな変化に気づく、鋭い観察力を高めることが必要です。このため、本校では、日頃から児童の様子をしっかりと見守り、教職員間で定期的に共有します。わずかな兆候であっても、背景にいじめがあるのではないかとの疑いを持って、いじめ対策委員会で対応について協議します。その上で、いじめを軽視することなく、事実関係に基づいて積極的に認知します。その際、個々の行為がいじめに当たるか否かの判断は、表面的・形式的にすることなく、いじめを受けた児童の立場に立って行います。

また、児童または保護者が、抵抗なくいじめに関して相談できるよう、学校は、定期的なアンケート調査や定期的な教育相談を実施し、いじめの実態把握に取り組みます。それとともに、児童または保護者が日頃からいじめについて相談しやすい雰囲気づくりに努めます。また、学校が家庭と緊密な連携をすることにより、学校と保護者との間の情報共有をし、児童生徒の状況をきめ細かに把握するよう努めます。

加えて、より多くの大人が児童の悩みや相談を受け止めるため、保健室や相談室の

利用、関係機関の開設している相談窓口について広く周知するとともに、地域関係団体や保護者に対しても協力を求めます。

については、上記のことに関して、本校では、以下のような取組を進めます。

① いじめに関する情報収集

| No. | 行動計画の具体的取組 | 取組目標 |
|-----|------------------------------------|--|
| a | いじめに関する定期的なアンケート調査の実施 | <ul style="list-style-type: none"> ・毎月最終月曜日に「振り返りアンケート」を実施します。 ・そのうち、9月はいじめに特化したアンケートを実施します。 |
| b | 子ども支援コーディネーターを中心としたいじめの疑いを含めた情報の集約 | <ul style="list-style-type: none"> ・いち早く子ども支援コーディネーターに情報が入るよう校内体制を整え、組織的に対応し、情報集約に努めます。 |
| c | いじめが発生するピーク時の校舎内及び校門等における見守り活動の実施 | <ul style="list-style-type: none"> ・休み時間や清掃時間に校内を巡回し、登下校も正門前で挨拶運動を実施します。 ・地域の方に協力を仰ぎ、登下校時の見守りをしていきます。 |
| d | いじめ等の悩みの把握及び教育相談の実施 | <ul style="list-style-type: none"> ・年に2回、教育相談月間を設け、児童と教師の話し合いの場を設けます。 ・SC来校日を周知させ、いつでも相談できるような環境を整えます。 |
| e | 日頃からの家庭との連携及び情報交換の実施 | <ul style="list-style-type: none"> ・学校便り、子育て通信、学年通信などでいじめに関する話題を取り上げ、家庭で話し合う機会が作りやすいよう努めます。 ・小さなトラブルや子どもの困り感なども家庭と情報共有し、共に見守ります。 |
| f | ネット上のいじめにかかる保護者との連携強化 | <ul style="list-style-type: none"> ・ネット上のトラブルも、把握したときにはしっかりと指導をし、家庭へ連絡を入れます。 |

② いじめに関する情報共有

| No. | 行動計画の具体的取組 | 取組目標 |
|-----|-------------------------------|---|
| a | いじめ事案の情報共有を図るための「いじめ対策委員会」の開催 | <ul style="list-style-type: none"> ・毎週月曜日及び緊急時にいじめ対策委員会を開催し、緊急時には、より迅速な対応に努めます。 |
| b | 学年及び校種を越えた情報共有の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・毎週月曜日放課後、一週間の情報共有を全職員で行います。また、保幼小中連絡会でも情報交換を行い、連携を密にします。 |

(3) いじめへの対処

本校では、教職員がいじめと疑われる場面を発見・通報を受けた場合には、一人で抱え込むことなく、速やかにいじめ対策委員会を中心とした組織で対応をします。被害を受けた児童を守り通すとともに、教育的見地から、毅然とした態度で加害児童を指導します。その際、謝罪や責任を形式的に問うことに主眼を置くのではなく、社会性の向上等、児童の人格の形成に主眼を置いた指導を進めます。

例えば、遊びや悪ふざけなど、いじめと疑われる行為を発見した場合、教職員はその場でその行為を止めます。また、児童や保護者から、「いじめではないか」と相談や訴えがあった場合には、真摯に傾聴し、被害を受けている児童や相談のあった児童の安全を確保します。

特に、インターネット上のいじめへの対応については、大津市および大津市教育委員会が作成している「インターネット上のいじめに関する対応マニュアル」に基づいて対応します。

いじめ対策委員会では、いじめの疑いがあった場合、直ちに情報を共有し、速やかに関係児童から事情を聴き取るなどして、いじめの事実の有無の確認を行います。事実確認の結果は、校長が責任を持って大津市教育委員会に報告するとともに、被害・加害児童の保護者に連絡します。

なお、児童生徒の生命・身体又は財産に重大な被害が生じる恐れがあるときや、いじめが犯罪行為として取り扱われるべきと認めるとき、もしくは、指導を行ってもいじめ行為が止まないときなど、学校がいじめられている児童生徒を徹底して守り通すために必要と判断する場合は、所轄警察署等関係機関や、心理や福祉等の専門家と相談し、連携して対処を進めます。

このため、すべての教員の間で、いじめを把握した場合の対処のあり方について共通理解を図るとともに、迅速かつ的確に対処できるよう、平素から関係機関との連携に努め、情報共有する体制を構築します。

については、上記のことに関して、本校では、以下のような取組を進めます。

① いじめの対処

| No. | 行動計画の具体的取組 | 取組目標 |
|-----|-----------------------------------|--|
| a | 組織的にいじめ事案に対処するための「いじめ対策委員会」における対応 | ・ 事実確認、情報集約を正確に行い、具体的な指導内容を決定します。 |
| b | いじめ事案の解決に向けた対応 | ・ 関係児童を複数の教員で継続的に見守り、必要に応じSC・SSW等の専門家と連携し支援します。 ・ 保護者と情報共有しながら、被害児童・被害保護者の安心につなげます。 |
| c | ネット上のいじめへの対応 | ・ ネット上のいじめであってもその他のいじめ同様、事実確認をしっかりと行い指導していきます。場合により |

| | | |
|---|------------------------|--|
| | | 警察やその他専門機関に相談しながら解決の道筋を立てていきます。 |
| d | 重大ないじめ事案に関するアンケート調査の実施 | ・必要に応じアンケート調査をすると共に、情報提供する旨を児童や保護者に丁寧に説明します。 |
| e | いじめ事案が生じたときの保護者への情報提供 | ・被害者へのケア、加害者への指導を行い、確認できた情報について提供します。 |

2 「いじめ対策委員会」の設置

本校では、いじめの防止等に関する措置を実効的に行うため、法第22条に規定される組織として「いじめ対策委員会」を常設します。その役割等については、以下のとおりとします。

(1) 役割

- ア) いじめの防止等の取組の年間計画を作成する
- イ) いじめの防止等の取組について、すべての教職員間で共通理解を図る
- ウ) いじめの防止等の取組の実施、進捗状況の確認を行う
- エ) 児童（生徒）や保護者、地域に対し、いじめの防止等の取組についての情報発信やいじめに関する意識啓発のための取組を行う
- オ) いじめの疑いや児童の問題行動などに関する情報の収集と記録、共有を行う
- カ) いじめの疑いに関する情報があった時には緊急会議を開催し、いじめの情報の迅速な共有を図り、教職員や関係のある児童等への事実関係の聴取、児童に対する支援・指導の体制・対応方針の決定と保護者との連携等の対応を行う
- キ) いじめとして対応すべき事案か否かの判断を行う
- ク) 重大事態に係る調査の母体となり調査を行う
- ケ) P D C A サイクルに基づき、毎年度、いじめの防止等の取組の検証を行うとともに、その結果等を勘案して、必要に応じて学校いじめ防止基本方針の見直しを行う

(2) 構成員

いじめ対策委員会の構成員は、管理職、主幹教諭、教務主任、子ども支援コーディネーター、生徒指導主事（主任）、教育相談担当、養護教諭、スクールカウンセラーとします。

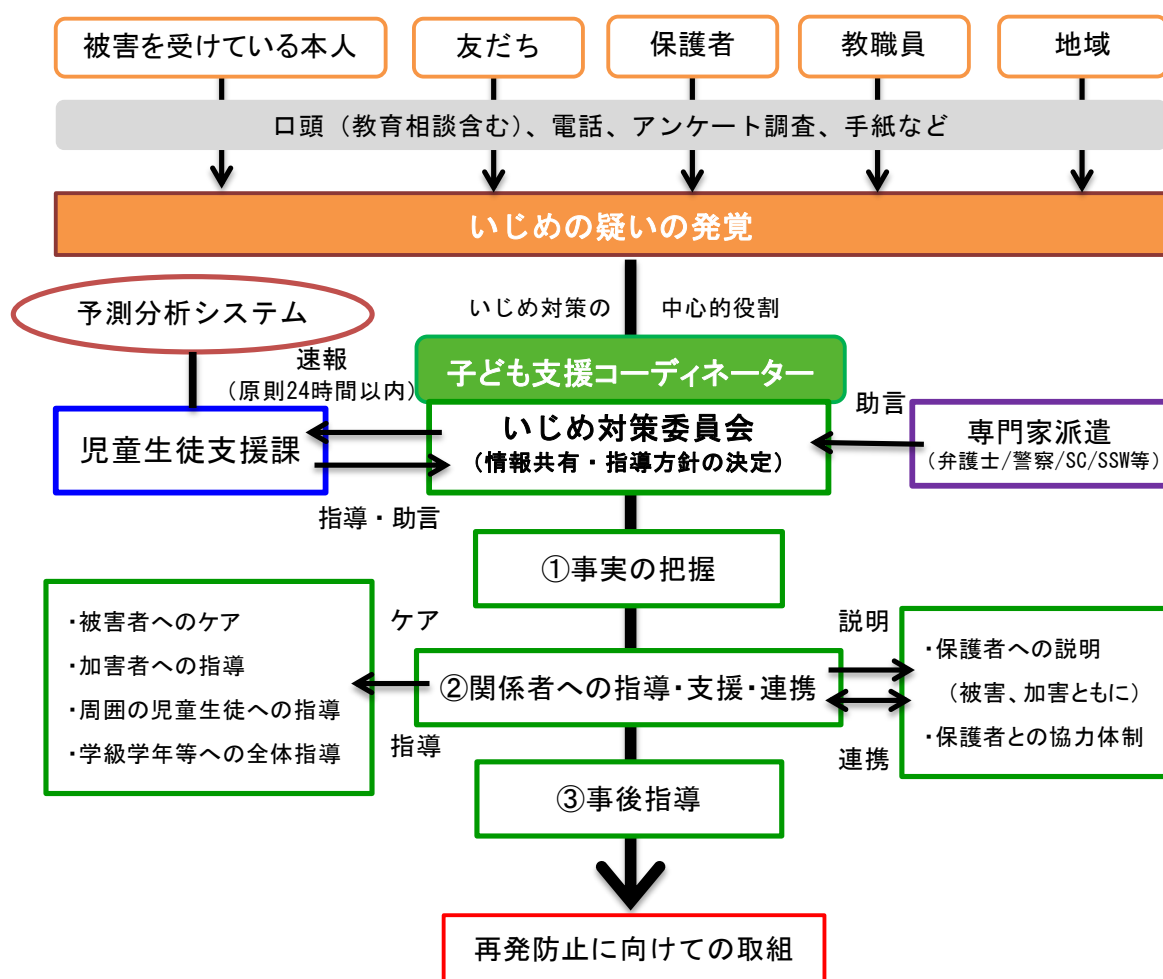
なお、個々の事案に応じて、関係の深い教職員を追加します。

また、事案の性質等、必要に応じて、心理や福祉の専門家、弁護士、医師、警察官（もしくは警察官OB）・教員経験者など外部専門家の参加を得ます。

(3) 関係する校内委員会等との連携

いじめの防止等の取組の実施に当たっては、生徒指導委員会、教育相談部会、人権教育部会等と役割分担し、連携して取り組みます。

(4) いじめ事案対応フロー図



(2) 学校のいじめ防止対策全般や基本方針の進捗状況の評価等を協議するため、「拡大いじめ対策委員会」を設置します。

その構成員は校長、教頭、教務主任、子ども支援コーディネーター、生徒指導主事等の学校教職員の他、PTA会長、自治連合会会長、青少年育成学区民会議会長、主任児童委員等の学校関係者とします。

3 その他いじめの防止等のための対策に関する重要事項

(1) 基本方針、年間計画の見直し

具体的な施策ごとに設定した目標について、その進捗状況を定期的に確認し、目標の達成状況（活動実績）を自己評価し、その結果について年度末に大津市教育委員会へ報告しています。また、評価に際しては、目標の達成状況（活動実績）を評価するとともに、それらの取組がいじめ防止にどのような効果があったのかについて考察し、取組内容や方法の見直しを検討します。このような取組を通して、策定した学校基本方針や年間計画をPDCAサイクルに基づき、毎年度見直します。

(2) 基本方針、年間計画の公開・説明

策定した学校基本方針や年間計画は、学校のホームページなどで公開するとともに、

年度当初に子どもや保護者、地域関係者にわかりやすく説明します。

4 いじめ防止等に向けた年間計画

| 月 | 活動内容・取組 | 備考 |
|----|---|---|
| 4 | 職員会議<児童生徒理解>①・②・③ いじめに関する校内研修Ⅰ①・②・③・④ 始業式① 学級開き、学年開き① いじめに関する校内研修Ⅱ①・②・③・④ | 研修Ⅰ「いじめに対する認識と対応の共通理解」 研修Ⅱ「いじめ防止基本方針の共通理解」 |
| 5 | 和邇の子を語る会①・②・③ 学校運営協議会Ⅰ④ | |
| 6 | いじめ防止啓発月間①・④ 先生と語る会 part1②・③ | 児童会を中心にした取組の実施 |
| 7 | 保護者懇談会④ いじめに関する校内研修会Ⅲ①・②・③・④ 学校運営協議会Ⅱ④ | |
| 8 | いじめに関する校内研修会Ⅳ①・②・③・④ | 研修Ⅳ 外部講師を招いてのいじめ防止講演 |
| 9 | 道徳授業一斉公開①・④ 9月いじめに特化したアンケート② 学校運営協議会Ⅲ | |
| 10 | いじめ防止啓発月間①・④ 先生と語る会 part2②・③ | ・児童会を中心にした取組の実施 |
| 11 | 教育相談ウエルカム月間②・④ | |
| 12 | 人権週間・人権の日① 人権擁護委員による授業① 学校運営協議会Ⅳ④ いじめに関する校内研修Ⅴ①・②・③・④ | |
| 1 | PTA 講演会④ | |
| 2 | 学校運営協議会Ⅴ④ | |
| 3 | いじめに関する校内研修Ⅵ①・②・③・④ | |

| | | |
|--------|--|--|
| 年間を通じて | 朝のあいさつ運動、下駄箱チェック①・② いじめ対策委員会①・②・③ 校内巡視①・② スクールカウンセラーによる教育相談①・②・③・④ 人権の日①(原則毎月第①水曜日) 振り返りアンケート②(原則毎月最終月曜日) (9月はいじめに特化したアンケートにかえる) | |
|--------|--|--|

※いじめの未然防止に関すること…①

いじめの早期発見に関すること…②

いじめの早期対応に関すること…③

いじめ防止に関する家庭・地域・関係機関等との連携に関すること…④